

TAC通信

毎月、TAC（担い手支援担当）の取組み状況などをご報告いたします。

菖蒲地区（北部エリア）担当になりました青木です。

今年度より新任TACとして活動させていただいております。また、農産物販売促進員（なんさい小町）としても活動しており、生産者の皆さまが丹精込めて作った農作物のPR活動もしております。生産から販売まで携われる立場となりましたので、生産者と消費者をつなぐ役目としてもより一層尽力いたします。

今回は、JA南彩で新規栽培作物として取り組みを進めている「ほっとけ栗たんかぼちゃ」について紹介いたします。「ほっとけ栗たんかぼちゃ」は、もともと久喜地区で生産が進んでおりました。その後、菖蒲地区でも作付が拡大し、現在はJA南彩の特産品に向けた取組みが広がっています。果肉は高繊維で甘味があり、濃黄色をしているのが特徴です。大玉で可愛いハート型の果実をしています。

菖蒲地区では7月に入り、収穫期の最盛期を迎えています。収穫されてから、しっかり追熟され甘さが増したかぼちゃが、南彩管内の各直売所をはじめ近隣の量販店に並んでおります。近くにお立ち寄りの際は、ぜひともお買い求めください。また、栽培に興味のある方がおりましたら、お声かけください。

